

(資料提供)

令和5年10月19日
石川県立保育専門学園
園長 大脇 修
TEL 076-242-5185

石川県立保育専門学園創立70周年記念式典の開催について

1 趣旨

昭和28年に保育士養成施設として創立された当学園が70周年を迎えるにあたり関係者が相集い、記念式典を開催し、今後の更なる発展を期する。

2 記念式典

(1)期 日 令和5年10月22日(日)

(2)場 所 ホテル金沢 2階 ダイヤモンド

(3)参加予定数 約300人

(4)次 第

13:00～ 記念講演会

講 師 東京大学大学院教育学研究科 教授 ^{えんどう としひこ} 遠藤 利彦 氏

テーマ アタッチメントが拓く子どもの未来

－「安心感の輪」と非認知的な心の発達

14:30～ 記念式典

主催者挨拶(知事、清水うめ子同窓会「芙蓉会」会長)

来賓祝辞(県議会議長)

永年勤続講師感謝状贈呈(9人、謝辞：^{みのわ えみこ} 箕輪 恵美子)

同窓会記念品贈呈(舞台幕一式、オーディオ設備一式、テント2張)

学生による喜びのことば(代表 ^{おおもり あみか} 2年 大森 明美香)

学園歌合唱

16:00～ 記念祝賀会(同窓会「芙蓉会」主催)

【 参考 】

1 学園の沿革 (別紙のとおり)

2 同窓生数 約4,100人

3 在学生数 81人 (保育学科 80人、専攻科 1人)

(別紙)

学 園 の 沿 革

| | | |
|-------|--------|--|
| 昭和27年 | 12月9日 | 学園の名称を「石川県立保育専門学園」に決定する。 |
| 昭和28年 | 4月27日 | 保母養成施設として厚生労働大臣の指定を受ける(定員50人)。 |
| | 5月7日 | 開園式を挙げる。(金沢市広岡町) 第1回入学式及び附属保育所の入所式を行う。 |
| 昭和43年 | 2月21日 | 保育専門学園第2部増設の許可を受ける(定員60人)。 |
| | 4月7日 | 第2部第1回入学式を石川県立金沢中央高等学校(金沢市泉野町)で行う。 |
| 昭和44年 | 1月10日 | 新校舎竣工により学園の位置を金沢市泉1丁目3番63号に変更する。第1部及び第2部を同時に移転併設する。 |
| | 2月1日 | 新築落成式を挙げる。附属泉保育所を開設する。 |
| 昭和51年 | 10月1日 | 附属広岡保育所を石川県社会福祉事業団へ移管する。 |
| 昭和57年 | 3月10日 | 第1部は昭和58年度から募集人員を30人とする。 |
| 昭和58年 | 10月30日 | 創立30周年記念式典を挙げるし、同窓会より記念像「育む」の寄贈を受ける。 |
| 昭和63年 | 5月18日 | 第2部は平成元年度から募集人員30人とする。 |
| 平成3年 | 6月19日 | 第1部は平成4年度から募集人員を40人とする。 |
| 平成4年 | 4月1日 | 平成5年度から入学資格については「男子」を認める。 |
| 平成5年 | 11月7日 | 創立40周年記念式典を挙げるし、同窓会より学園歌碑の寄贈及び前庭の整備を受ける。 |
| 平成10年 | 12月25日 | 校舎の大規模修繕工事着手 |
| 平成11年 | 4月1日 | 「保母」から「保育士」へと名称が変更される。 |
| 平成13年 | 10月16日 | 学校教育法に基づく専修学校専門課程として許可を受け、第1部保育学科、第2部保育学科と改める。 |
| 平成15年 | 3月11日 | 専門士(保育専門課程)の称号の授与が許可される。 |
| | 11月9日 | 創立50周年記念式典を挙げるし、同窓会よりピアノ、椅子、音響設備の寄贈及び門扉の整備を受ける。 |
| 平成18年 | 4月1日 | 第1部保育学科、第2部保育学科を統合し、保育学科と改め、定員を60人とする。専攻科を新設する(定員10名)。 |
| 平成24年 | 4月1日 | 幼稚園教諭免許状(2種)取得のための支援策として、大阪芸術短期大学部通信教育部と協力関係(併修制)を結ぶ。 |
| 平成25年 | 11月10日 | 創立60周年記念式典を挙げるし、同窓会よりピアノ、あずま屋の寄贈を受ける。 |
| 平成28年 | 4月1日 | 附属泉保育所を幼保連携型認定こども園に移行する。 |
| 令和元年 | 9月20日 | 学園が高等教育の修学支援新制度の対象機関として認定される。 |
| 令和5年 | 4月1日 | 幼稚園教諭免許状(2種)取得のため、豊岡短期大学部と協力関係(併修制)を結ぶ。 |